



昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

病院だより

2023年9月号
【第353号】



〒227-8501
横浜市青葉区藤が丘1-30
Tel : 045-971-1151



〒227-8518
横浜市青葉区藤が丘2-1-1
Tel : 045-974-2221



昭和大学藤が丘病院

検索

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

検索

発行：昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

発行責任者：昭和大学藤が丘病院 病院長 高橋 寛

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

01. 副院長就任のご挨拶

02. 循環器センター長就任のご挨拶

03. 診療科長就任のご挨拶・診療科紹介

04. 診療科長就任のご挨拶・診療科紹介

05. 市民公開講座のご案内【8/15~9/12】

06. 患者さんからのご意見・ご要望

07. 盆踊りに参加しました！【藤が丘一丁目町内会・藤が丘二丁目B自治会】

08. 診療統計【6・7月】

消化器・一般外科 田中 邦哉

循環器内科 鈴木 洋

呼吸器内科 横江 琢也

放射線科 堀 祐郎

副院長就任のご挨拶

安全で質の高い医療の提供を目指して

本年4月付けで副院長を拝命致しました、消化器センター消化器・一般外科の田中邦哉です。これまで外科診療科長として、高難度手術あるいは低侵襲手術といった質の高い医療の提供を志して参りましたが、今後は副院長としての立場から、藤が丘病院の一員としての責務を果たして参る所存です。

地域中核病院である当院は、専門的検査や先端手術などに取り組み「地域完結型医療」の中心的役割を担っています。救急医療も、救命救急センターに加え、心臓ホットライン、脳卒中ホットラインで24時間対応しており、地域医療連携室では、ご相談頂いた緊急症例に迅速に対応できるよう、部署間院内ラインワークスを活用しリアルタイムで情報共有を行い、症例受入れの強化を推し進めております。

当院の使命は、横浜市北部医療圏における“最後の砦”として地域医療に貢献することです。その実現のために昭和大学の基本理念であります至誠一貫の精神で良質な医療の提供を目指して参りたいと思います。



田中 邦哉
タナカ クニヤ

昭和大学藤が丘病院

- ・副院長
- ・外科系診療センター長
- ・消化器センター長
- ・消化器・一般外科教授、診療科長

プロフィール

1989年：
横浜市立大学医学部附属病院
臨床研修医

1994年-1995年：
米国UCLA medical center留学

1997年：
横浜市立大学医学部第2外科助手

2001年-2002年：
仏国Hôpital Paul Brousse Centre
Hépatobiliaire留学

2005年：
横浜市立大学
消化器病態外科学 講師

2007年：
横浜市立大学
消化器・腫瘍外科学 准教授

2013年11月：
帝京大学ちば総合医療センター
外科学講座 教授

2018年7月：
昭和大学藤が丘病院
消化器・一般外科 診療科長 教授（員外）

2019年7月：
昭和大学医学部外科学講座
消化器一般外科学部門 教授

2020年4月：
昭和大学藤が丘病院
消化器センター長

2023年4月：
昭和大学藤が丘病院
副院長・外科系診療センター長

循環器センター長就任のご挨拶

地域との連携を重視し循環器高度医療を提供します

昭和大学藤が丘病院は、横浜市の北部地域の中核病院として、また大学病院として日々診療や研究に励んでいます。

循環器センターは、内科と外科が綿密な連携のもとに、心筋梗塞等の緊急患者さんを数多く受け入れ24時間365日カテーテル治療を行っております。また、カテーテルアブレーションや新しいタイプのペースメーカー技術を用いた不整脈の最新治療にも力をいれており、心不全に関しても数多くの症例を扱い、最新技術を用いた弁膜症手術も行っています。

一方、動脈硬化が原因で、足の動脈が狭くなったりする病気（閉塞性動脈硬化症）等の治療にも力を入れております。循環器センター以外の部門とも連携のうえ、藤が丘重症下肢虚血センターで多職種によるチーム医療を行っています。また、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院においては、藤が丘病院循環器センターで急性期治療を行った心筋梗塞、心不全、心臓血管外科術後の患者さんのリハビリテーションにも力をいれています。

このように、今後も当地域の中核病院として循環器疾患の急性期治療、高度治療のみならず慢性期治療を積極的に行っていきます。また、これまで以上に地域の患者さんや近隣の先生方に信頼される循環器センターを目指していきますので、よろしくお願いいたします。



鈴木 洋
スズキ ヒロシ

昭和大学藤が丘病院
・副院長
・循環器センター長
・循環器内科
教授、診療科長

プロフィール

1988年3月：
昭和大学医学部卒業

1988年4月：
昭和大学第三内科学教室入局

1992年3月：
昭和大学大学院医学研究科内科系卒業

1994年7月-1996年6月
Huntington Medical Research Institute
(Richard J Bingに師事)
(米国、カリフォルニア州、ロサンゼルス)
留学

1996年10月：
昭和大学 第三内科 助手

2003年6月：
昭和大学 第三内科 講師

2007年9月：
昭和大学藤が丘病院
循環器内科 准教授・医長

2012年9月：
昭和大学藤が丘病院
循環器内科 教授・医長（現：診療科長）

2019年4月：
昭和大学藤が丘病院
副院長 循環器内科教授・診療科長

診療科長就任のご挨拶 診療科紹介



呼吸器内科

横江 琢也
ヨコエ タクヤ

～プロフィール～

1995年3月：
昭和大学医学部卒業

1995年4月：
昭和大学大学院医学研究科臨床系内科学入学

1999年3月：
昭和大学大学院医学研究科臨床系内科学卒業

2003年10月：
昭和大学 第一内科 助教

2005年2月：
ピッツバーグ大学へ留学

2007年2月：
昭和大学 第一内科 助教

2008年4月：
昭和大学 呼吸器アレルギー内科 助教

2010年7月：
昭和大学 呼吸器アレルギー内科 講師

2018年4月：
昭和大学 呼吸器アレルギー内科 准教授

2023年4月：
昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科 診療科長

地域の呼吸器診療の要となるように

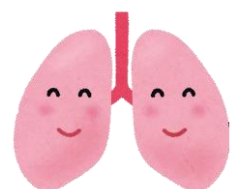
2023年4月から昭和大学藤が丘病院呼吸器内科診療科長を拝命致しました横江琢也です。私は1995年に昭和大学を卒業後、昭和大学病院や地域の総合病院で研修後、2001年から昭和大学病院で勤務していました。2017年に昭和大学藤が丘病院の診療科長補佐を拝命し、当院での呼吸器診療を開始しました。

《診療科紹介》

呼吸器疾患は多岐に亘り、患者数は年々増加しています。気胸、膿胸、肺癌など外科的処置や手術が必要な場合は呼吸器センターの呼吸器外科と協力して診療しています。肺癌等の悪性疾患は呼吸器外科、内科（腫瘍・緩和医療）、放射線科で構成されているカンサーボードで最適な治療方針を決定しています。

また、リハビリテーション病院にも常勤医を配置し、連携して診療しています。気管支鏡検査は年間200件以上行い、在宅酸素療法、マスク型人工呼吸療法（NIPPV）、睡眠時無呼吸患者へのCPAP療法の導入も行っています。

診断治療が難渋する呼吸器患者さんで当院での診療をご希望の方は、かかりつけの先生にご相談ください。継続的な診療が必要な場合は当院で導入を開始した二人主治医制により、かかりつけの先生方と共に継続診療させていただきます。地域の呼吸器診療の要となれるよう努力してまいりますので、今後とも御指導御鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。



診療科長就任のご挨拶 診療科紹介



▶放射線科

堀 祐郎
ホリ ヨシロウ

～プロフィール～

1997年：
山梨大学医学部卒業

2000年：
国立循環器病センター
放射線診療部 レジデント

2002年：
新潟大学医学部附属病院 放射線科 医員

2007年：
国立循環器病センター 放射線診療部 医師

2009年：
新潟大学医歯学総合病院 放射線科 助教

2013年：
昭和大学藤が丘病院 放射線科 助教

2017年：
国立循環器病研究センター 放射線部 医長

2019年：
昭和大学藤が丘病院 放射線科 准教授

2023年：
昭和大学藤が丘病院 放射線科 診療科長

縁の下から質の高い診療を支えます

はじめまして、本年4月より放射線科診療科長を拝命いたしました堀祐郎です。私は2013年から藤が丘病院で勤務しており、主にIVRと循環器画像診断を専門としてきました。

《診療科紹介》

放射線科の読影室は病院の地下一階にあり、文字通り縁の下から病院の診療を支えています。日常の画像診断では、頭先从から足の先まで画像に写っているものに関しては隈無く読影を行い、診断レポートを作成するよう心がけています。偶発所見（当初の検査目的以外の予期せぬ異常）を発見した際には、急を要するものに関しては直接依頼医に電話連絡し、その他のものに関しては電子カルテ上のメールで依頼医に知らせることによって、病気が見過ごされることを防止しています。

IVRは血管系、非血管系とも広く対応しています。緊急の動脈塞栓術にも24時間365日IVRオンコールで対応しており、困ったら放射線科に相談してみようと思っていただけたら幸いです。

【脚注】IVR（インターベンショナル・ラジオロジー）とは、X線やCT等の画像で体の中を確認しながら、カテーテルや針を使って行う治療です。血管内にカテーテルを通して行う「血管系IVR」、体外から直接針を刺して行う「非血管系IVR」があります。



放射線科HP



市民公開講座

無料

講座01

「遺伝性乳がん」

藤が丘病院 乳腺外科 成井 理加

講座02

「認知症の考え方、つきあい方」

藤が丘病院 脳神経内科 安本 太郎

公開講座は
こちらから



- ・開催形式：WEB開催（動画公開）
- ・視聴方法：藤が丘病院ホームページ
リハビリテーション病院ホームページ
昭和大学YouTubeチャンネル内

8月15日(火)～9月12日(火)

【主催】昭和大学、昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんからいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院内全体で共有しております。いただいたご意見・ご要望につきまして、改善内容を掲載させていただきました。掲載されていないご意見・ご要望につきましても別途対応しております。今後もお気づきの点等ございましたら、お聞かせくださいますようお願い申し上げます。

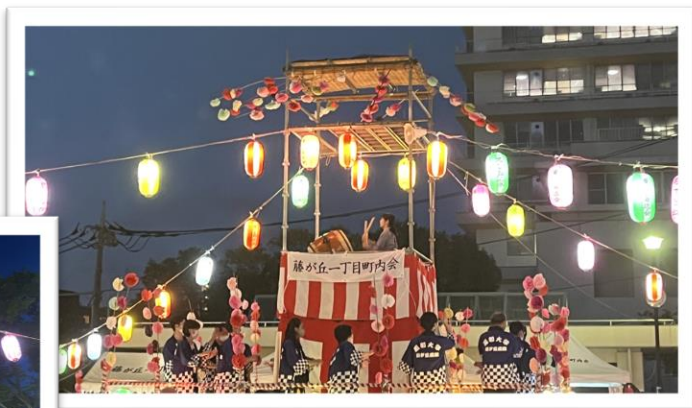


ご意見・ご要望	回答・改善内容等
<p>3階の個室トイレに座っていると20分位で電気（照明）が消えてしまう。体が不自由で暗くなってしまうと行動することが出来ず、電気が消えないようにしてほしい。</p>	<p>全てのトイレについて、人感センサー点灯時間を使用中に照明が消えないよう、30分間の点灯時間で調整いたしました。 このたびは不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 【回答部署：藤が丘病院管理課】</p>
<p>看護師、理学療法士、助手さんが少しでも戸惑っていると察して、すぐに声をかけてくださってとても助かりました。ありがとうございます。医師もお掃除の方もとても良くしてくださり、明るい気持ちで治療を受けられました。</p>	<p>このたびは、温かいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。職員一同大変嬉しく思っております。 いただいたお言葉を励みに、今後もより一層誠意努めてまいりますので、何卒宜しく願いいたします。 【回答部署：看護部（7階西病棟）】</p>
<p>SCUに入った時は不安で一杯でしたが、看護師のAさんの温かい心遣いにとっても感謝・感激です、忘れられない人となりました。ありがとうございます。リハビリテーション室のBさん・Cさん、毎日少しずつ足が動くようになり、言葉も何とか通じるようになりました。とても励みになり、なんとか頑張っていけそうです。皆様本当にありがとうございました。</p> <p>※SCU：脳血管障害（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など）の急性期に対する治療を行う脳卒中専門の集中治療室のこと</p>	<p>このたびは、看護師への温かいお言葉をありがとうございました。部署スタッフで共有し、今後も患者さんの不安が軽減できる看護を提供できるようにしていきます。 【回答部署：看護部】</p> <p>このたびは療法士への心温まるお言葉をいただきありがとうございました。リハビリテーション室内でも共有させていただきます。言葉や手足の回復とともに気持ちも前向きになられたようで、私たちも大変嬉しく思います。これからも患者さんに寄り添ったリハビリテーションを提供してまいります。 【回答部署：リハビリテーション室】</p>
<p>10日間と人生最大の入院でした。当初のご説明だと、通常2週間の入院ということで、入院前の気持ちは重たいものがありました。何とか予定よりも短い期間で退院できたのは、もちろんA先生・B先生の手術・診察と対応のおかげもあるけれど、無事手術が受けられたり、術後の経過が順調だったのは、病室や手術室の看護師さんやスタッフの方々のおかげでした。昼夜で延べ十数名の看護師さんに診ていただきましたが、皆さん経験豊富で不安な患者の気持ちをしっかり支えていただきました。術後1週間は洗髪もできないと覚悟していましたが、2回も介助洗髪していただき、すっきりして退院することができました。皆さん本当にありがとうございました。</p>	<p>入院生活を快適に過ごすことができたことを、大変嬉しく思います。また、スタッフへの感謝のお言葉をいただき、ありがとうございます。 これからも患者さんに満足していただける看護ケアを提供できるようスタッフ一同取り組んでまいります。 【回答部署：看護部】</p>

盆踊りに参加しました！【藤が丘一丁目町内会&藤が丘二丁目B自治会】

7月15日（土）藤が丘第三公園にて藤が丘二丁目B自治会「夏祭り盆踊り大会」が、8月5日（土）には藤が丘駅前公園にて藤が丘一丁目町内会「納涼盆踊り大会」がそれぞれ開催されました。藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院からも多くの職員が参加させていただきました。

納涼盆踊り大会（藤が丘一丁目町内会）



新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いておりましたが、3年ぶりの開催ということで賑わいを取り戻した雰囲気になっておりました。両病院の職員がお揃いの青い法被を身に纏い、近隣にお住まいの方々や子供たちと一緒に踊りの輪に加わり、交流をより深められる良い機会となりました。また、猛暑の中盆踊り大会を運営してくださった町内会・自治会の皆様に感謝申し上げます。

夏祭り盆踊り大会（藤が丘二丁目B自治会）



診療統計

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2023年6月	2023年7月	2023年6月	2023年7月
外来患者数	22,309人(858.0人/日)	22,824人(913.7人)	4,595人(176.7人/日)	4,430人(177.2人)
入院患者数	13,927人(464.2人/日)	14,344人(462.7人)	5,469人(182.3人/日)	5,935人(191.5人)
紹介率	92.3%	93.9%	66.0%	82.4%
逆紹介率	82.7%	80.6%	69.0%	86.0%

《広報・公開講座委員会》

森岡 幹、酒井 広隆、鈴木 洋、布山 正貴、小岩 文彦、今井 敦、佐々木 春明、松原 大、高木 睦子、柴田 綾、出口 智一、孫 雨晨、岡部 圭吾、門田 美佳、川手 信行、西村 栄一、小野寺 真美、廣井 高志、鳥居 美弥子（順不同）